

『赤しか』のすすめ

一本飲んで、気合いを入れて、肚を据えて！

「赤しか」はいつ飲むといいのか？

朝起きたとき、目覚めの一本で活動のスイッチが入ります。自律神経の交感神経が働き、一日を快適に過ごすことができます。朝の弱い人、疲れの残っている人におすすめです。夜寝る直前に飲むと、爽やかに朝を迎えることができます。睡眠不足の人や、朝の目覚めの悪い人におすすめです。

「ミニボトルの威力」

美味しい。うまい。たった三十ミリリットル入りのミニボトルですが、原料が濃縮されているため、大ビンを超える効き目と充実感があります。誰でも、いつでも、どこでも価値あるミニボトルを美味しく飲んでいただけます。期待を裏切りません。お出掛けの際は携帯にも便利です。

「この一本で力をつける」

体力の低下している人は、赤しかを飲んで身体の機能を整えましょう。新陳代謝を活発にして、フレッシュな一日を過ごすことができます。自然治癒力を高めます。健康の維持と、病気の予防に毎朝この一本で力をつけましょう。

「しっかり飲んで風邪予防」

身体の疲れや冷えなどで抵抗力や免疫力が低下したとき、風邪をひき易くなります。赤しかは身体を温め、体力や免疫力を高めることができます。しっかりと飲んで風邪を引かない体質を作りましょう。

「美味しい飲み方」

夏はもちろんオンザロックで、寒い時期にはお湯割りのホットで飲んでください。年齢や男女を問わず、身体の冷えは禁物です。

「病院の薬との飲み合わせも大丈夫」

病院で処方された薬との飲み合わせも大丈夫。心配ありません。病院の薬に影響を及ぼすような成分は使用していないので安心して飲んでいただけます。

「簡単、カロリー計算」

赤しか一本のカロリーは約四十キロカロリーです。免疫力や体力が低下している糖尿病やダイエット中の方は、一本四十キロカロリーと覚えておくと便利です。



赤しが喜びの声

●昔から冷え性で、夏でも寝るときは靴下を履いて寝る状態でしたが、飲み始めて一〜二年経った頃から、一生治らないとあきらめていた、頑固な冷え性が、いつの間にか治っていた。(七十歳代 女性)

●普段から体温が三十五・五度しかなく、疲れやすかった。勧められてコップ一杯の熱湯でお湯割りにし飲んでみた。二時間後に体温を測ってみると三十六・二度になっており身体も軽くなった様に感じられおどろいている。(五十歳代 男性)

●体力が無く、自転車に十五分乗れば五分以上休まなければならないという程の虚弱体質で、顔色が常に悪かったが、毎朝一本お湯割りで服用し、疲れが取れない時は夕方にも服用。結果、顔色が良くなり少々身体を動かしたくらいではへたれなくなった。(六十歳代 女性)



●以前は、ひと仕事終えたらしんどくて、ひと休みしないと次にかかれなかったが、朝に一本飲んでおくと、休む事なく次の仕事にかかれ、疲れなくなった。(五十歳代 男性)

●仕事がハードで、疲れが抜けなくて、肩こり、頭痛が激しかった。飲み始めると翌朝の目覚めが良くなり、疲れの残り方が全然違い、肩こりと頭痛が軽減した。(四十歳代 男性)

●高齢の為か毎日身体がだるく、頭もハッキリしない。このまま死ぬのだからと思って、赤しか一本で頭の調子が良くなり、毎日が気分良く過ごせるようになった。服用半年になるが、風邪も引かず、孫たちと毎日楽しく過しております。(九十歳代 女性)



赤しかはこの様な方に最適です!!

30ml ¥420(税込)

年間お届け特別コースあります。ご利用下さい。//

笑顔の決め手は赤しか!!